

令和6年度
「埼玉県新たな地域クラブ活動実証事業」に係る地域ミーティング
～ふじみ野市における取組みについて～

埼玉県ふじみ野市
市民活動推進部文化・スポーツ振興課



2025/1/16

Contents

- ▶ 01 ふじみ野市の概要
- 02 令和5年度 of 取組み
- 03 令和6年度 of 取組み
- 04 取組み of 成果と課題

ふじみ野市の概要

人口	114,567 人（令和6年12月1日時点）	
面積	14.64 km ²	
学校数	中学校	6 校
	小学校	13 校
児童生徒数	中学校	2,937 人
	小学校	5,972 人
部活動数	運動部	65 部（11種目）
	文化部	21 部（10種目）



ふじみ野市PR大使「ふじみん」

Contents

- 01 ふじみ野市の概要
- ▶ 02 令和5年度 of 取組み
- 03 令和6年度 of 取組み
- 04 取組み of 成果と課題

令和5年度の取り組み

種目体験型「スポーツ活動地域支援事業」

体験したい種目についてアンケートを実施し、結果の上位から実施可能な種目を選択し事業として行う。

- 対 象：小学5・6年生、中学生
- 種 目：既存部活動の種目 / 4種目
部活動種目以外 / 3種目
- 活 動：3回 / 年
- 会 場：市内スポーツ施設
- 指導者：市スポーツ協会、総合型地域スポーツクラブ



新たな体験型の事業として進めたが、土・日曜日に開催する新種目体験への**参加者が少なく**、アンケートでも「現在の部活動種目での**スキル向上を希望する**」という意見が多かった。

Contents

- 01 ふじみ野市の概要
- 02 令和5年度 of 取組み
- ▶ 03 令和6年度 of 取組み
- 04 取組み of 成果と課題

令和6年度の取組み

スキルアップ型「スポーツ活動地域支援事業」

生徒が所属している部活動から事業をスタートし、生徒が競技を通じて基礎的な**スキルを向上**させるとともに、その競技をより深く楽しみ充実した活動ができることを目的とする。

また、地域指導を活用することで、**生涯スポーツ**の推進を目指す。

- 対 象：市内中学1・2年生（各部活に所属している生徒）
- 種 目：運動部5種目
（陸上/サッカー/軟式野球/剣道/男女バスケットボール）
- 活 動：土曜または日曜に月1回（7月～3月）
- 会 場：市内6中学校にそれぞれ一種目ずつ割り当て、**活動拠点校**を設定
※バスケットボール部のみ部員数が多いため男女ともに各2グループに分けて実施
- 費 用：市の負担としているため、**受益者負担なし**

令和6年度の取組み

■ 指導者

〈指導者選定の基本的な考え方〉

- ① スポーツ協会及び総合型地域スポーツクラブ（ふあいぶるクラブ）からの人選を基本とし、地域にゆかりのある関係者
- ② 市スポーツ施設指定管理者

種 目	指 導 者
陸上	市スポーツ施設指定管理者職員
サッカー	三上 卓哉（元Jリーガー・指定管理者職員）、市サッカー協会
軟式野球	星野おさむ（元プロ野球選手・旧県立福岡高校出身）
剣道	市剣道連盟
バスケットボール	市バスケットボール協会

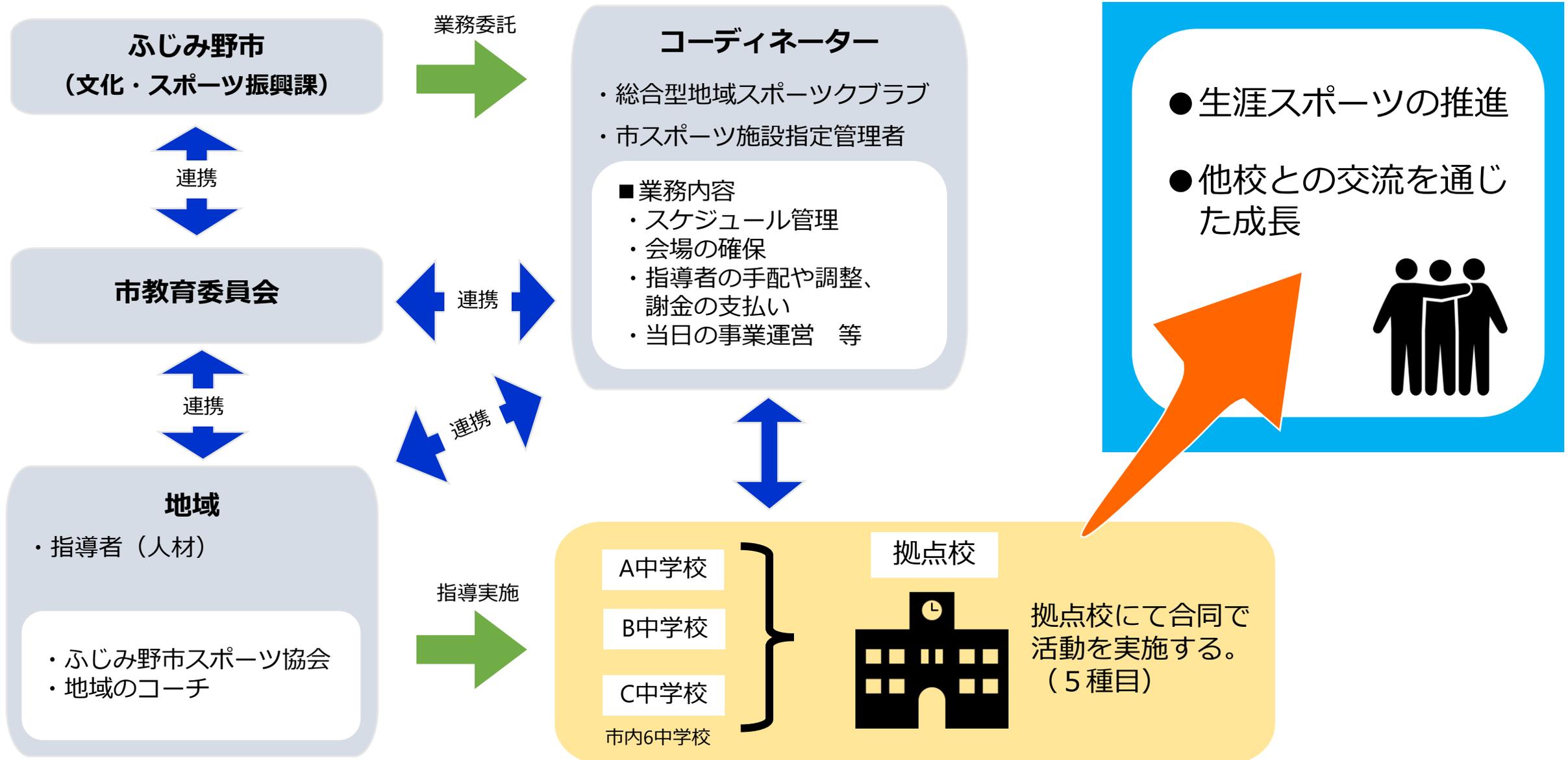
令和6年度の取組み

■ 部員数と部活動設置状況

種 目	部員数 (1・2年生)	部活設置学校数	活動拠点校
陸上	234人	6校	1校
サッカー	115人	6校	1校
軟式野球	70人	5校	1校
剣道	67人	3校	1校
男子バスケットボール	88人	5校	2校
女子バスケットボール	102人	6校	2校

※少子化の進行に伴い、学校単位での部活動の維持が困難な状況があるため、
地域での**合同活動**とした。

事業イメージ



事業の流れ

4月

- 市からコーディネーターに事業を委託

5月

- 市内中学校長、事業実施種目顧問、指導者、コーディネーターで全体打合せ

6月

- コーディネーターから各中学校長に事業の実施方法等を説明
- 保護者あてに事業についての文書を配布し、同意書の提出を求める

7月

- 5種目の事業がスタートする

12月

- 延べ **41回**、延べ **1,220人**の生徒が事業に参加

コーディネーターの役割

1. 会場の確保

拠点校にて実施が難しい場合には、市スポーツ施設を使用する等の調整

2. 指導者の手配や調整手配

指導者への謝金は、コーディネーターが直接支払う

3. 各学校（顧問）との調整

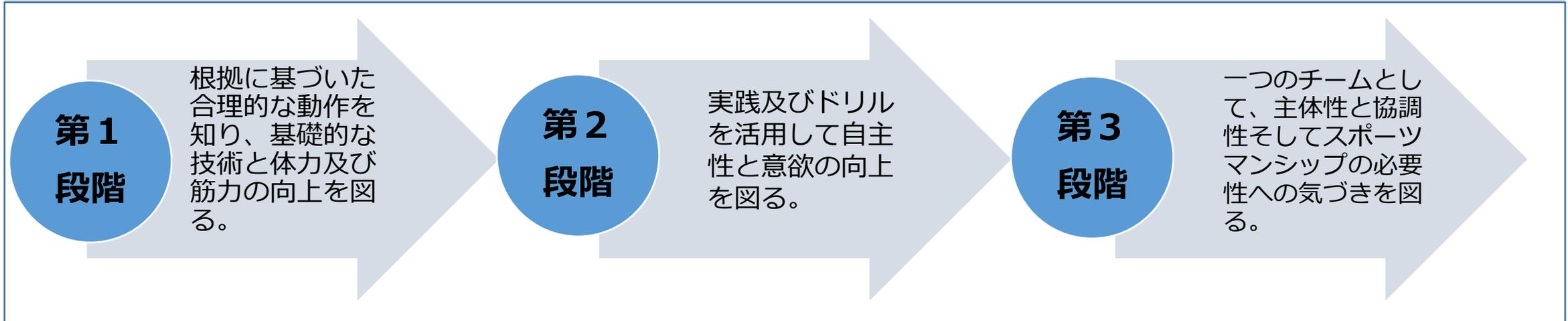
顧問との綿密な連携が必要

4. 当日の運営

生徒の出欠確認やケガ・トラブル等発生した場合には対応をする

事業カリキュラム例（軟式野球）

目標：幅広い視点で野球の楽しさを見出し、次のステージに繋がるスキルと主体性を育む



支援項目	第1段階	第2段階	第3段階
挫折させない	目的を明確にして、当事者意識を持たせる「意識改善」	個々の成功・失敗体験から自身の存在を考える「自己肯定感」	チームの成功（失敗）体験から仲間 の存在を考える「連帯感」
キャッチボール	合理的なやり方の習得 「捕るから始まる」への意識改革	基本動作を送球・投球に繋げる	正しく・速く・強く・遠くへ何度でも 投げられる理論の定義
ベースランニング	ベースランニングの基礎ドリル	離塁・帰塁・スライディング練習	状況判断と打球判断
バッティング	素振りの方法と目的	タイミングと始動の重要性	打者タイプ別による練習法の講習
座学	怪我と障害、予防と防止について	セオリーと準備について	環境の振り返りと将来を考える

事業の様子

陸上



サッカー



事業の様子

軟式野球

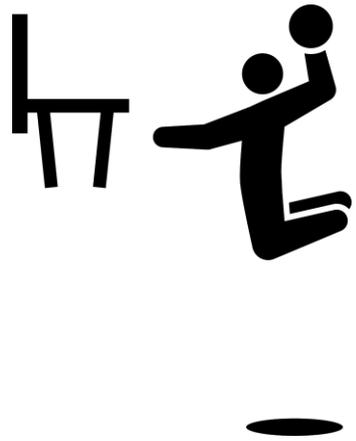


剣道



事業の様子

バスケット
ボール



Contents

- 01 ふじみ野市の概要
- 02 令和5年度 of 取組み
- 03 令和6年度 of 取組み
- ▶ 04 取組みの成果と課題

令和6年度事業の成果

- 地域に関わるスポーツ関係者と学校の繋がりが構築され始めた
- コーディネーターの業務が明確になり、事業の実施ができる体制が整備される
- 参加した生徒は、専門性の高い指導により技術向上に繋がる
- 他校との交流により、切磋琢磨することでモチベーションが向上する
- 合同活動の中でのミニゲームは、技術を高めるとともに、交流を深める契機となる

今後の課題

- 拠点校の考え方
- 実施回数、実施方法
- これまでの学校部活動と同様に、誰もが平等に活動できる体制の整備
- 中学校（顧問）からの事業への理解と協力
- 事業に対する各顧問の熱意や姿勢に差がある



ご清聴ありがとうございました